

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	富士通コンポーネント株式会社					
代表者名	氏名	山本 真二	役職名	代表執行役社長		
主たる事務所の所在地	東京都品川区東品川4丁目12番4号 品川シーサイドパークタワー20F					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	各種電子部品・デバイス等の開発・設計・製造・販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	2,341	2,270	1,919	1,831	1,535
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	4,347	4,216	3,600	3,413	2,838
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	1		1	1	1
自動車の台数	台	13		13	12	12
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	17				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

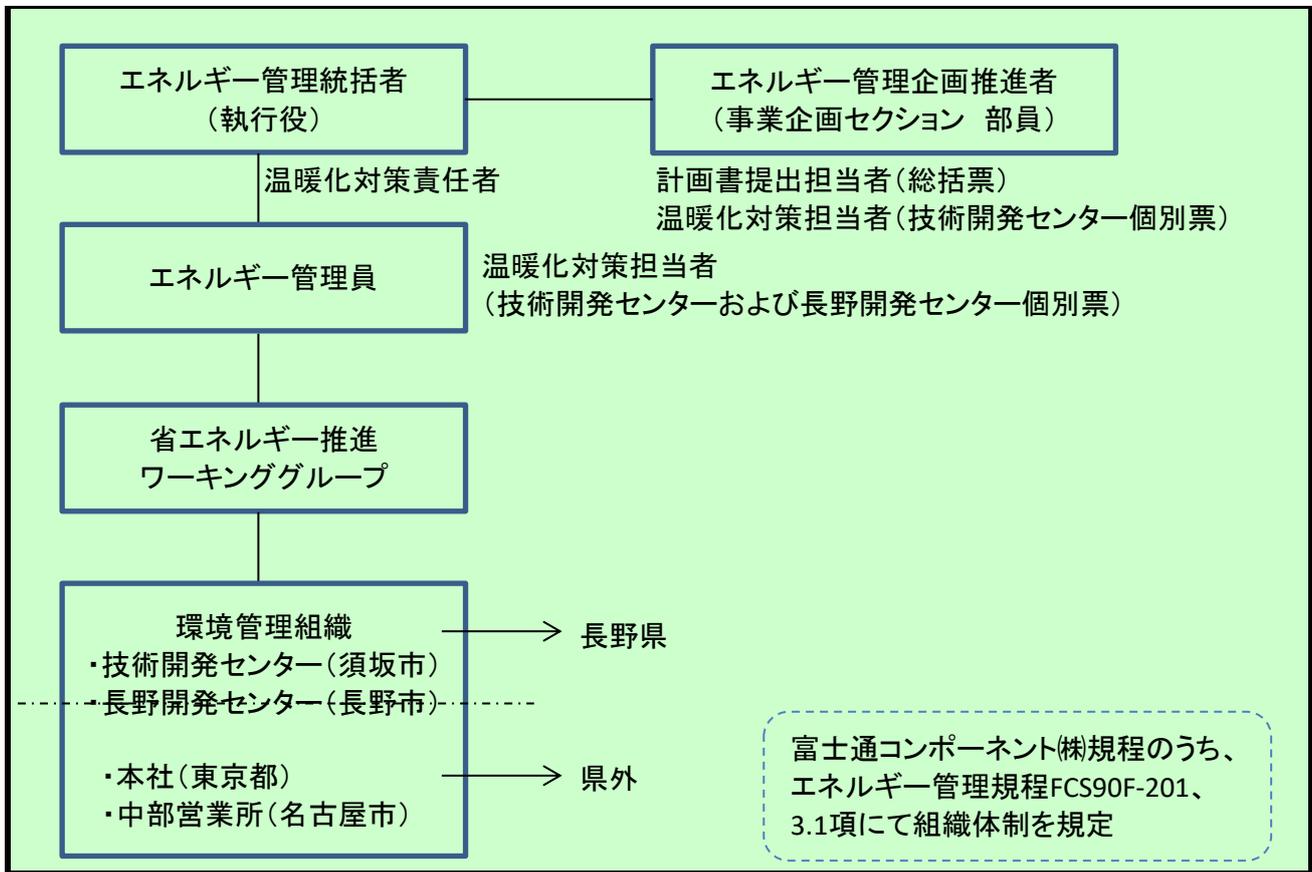
<input type="checkbox"/>	ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玄関ホールに閲覧用印刷物を配置</li> <li>・ 閲覧可能時間：午前8時40分～午後5時30分</li> <li>・ 連絡先：026-248-5566</li> <li>・ 担当部署：技術開発センター総務部門</li> </ul>
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

●理念  
当グループは、地球環境保全への取り組みを最重要課題であると認識し、『環境を大切に、より良い企業活動を行うこと』を理念とし、コンポーネント製品の開発、設計、製造、販売を行う企業であることを踏まえ、低炭素で豊かな社会の実現に向けて、ISO14001に準拠した環境マネジメントを推進する。

●行動指針（抜粋）  
社員一人ひとり、それぞれの業務と市民としての立場を通じて持続可能な資源の利用、気候変動対策や生物多様性保全を始めとした環境の改善に努め、更に広くこれらの社会への普及啓発を図る。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネルギー推進ワーキングを、4回/年以上開催。

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,347	t-CO <sub>2</sub>	生産額	4,123.00	単位	百万円
2019年度	調整後排出量	4,347	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	1.05	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
目標年度	目標排出量	4,216	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	1.02	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	2020～2022年度の生産額が、現時点(2020年6月末)で予測できないことから、同期間の生産額は2019年度並みを維持するとした。また省エネ関係の設備投資も現時点では投資できる確約も無いことから、徹底的な無駄の排除を進めることで、2019年度比で毎年1%づつエネルギー量を削減していく計画とした。						
第一年度	排出量	3,600	t-CO <sub>2</sub>	生産額	2,909.00	単位	百万円
	削減率	17.18	%	原単位	1.24	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2020年度	調整後排出量	3,600	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-18.10	%	
	削減率	17.18	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注量の減少に伴う、工場稼働率の減少によりエネルギー使用量は減少した。</li> <li>・しかし生産高の減少に比例しない固定エネルギー(空調等)の影響によりエネルギー原単位は悪化した。</li> </ul>						
第二年度	排出量	3,413	t-CO <sub>2</sub>	生産額	3,195.00	単位	百万円
	削減率	21.48	%	原単位	1.07	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2021年度	調整後排出量	3,413	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-1.91	%	
	削減率	21.48	%				
排出量等の増減理由	エネルギーの使用に係る原単位は、前年比で21%と大幅に改善された。これはクリーンルーム空調やボイラの運用改善効果が大きいの。しかし基準年度比では1.9%悪化。主な要因として生産額＝生産稼働減少に対し固定エネルギー(クリーンルーム空調など)減少に苦慮している。						
第三年度	排出量	2,838	t-CO <sub>2</sub>	生産額	2,699.00	単位	百万円
	削減率	34.71	t-CO <sub>2</sub>	原単位	1.05	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2022年度	調整後排出量	2,838	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	0.00	%	
	削減率	34.71	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	製造部門がある技術開発センター単独の原単位は基準年度比較3%改善を達成したが、事務部門・品質保証部門がある長野開発センターでは原単位改善が困難で、よって事業者全体では基準年と同等程度の原単位しか達成できず。						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	1	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率	0.00	%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	1	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率	0.00	%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	1	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率	0.00	%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	17	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	329999	ボイラー更新	2021～ 2022	54		
2	エネ起	330203	エアーハンドリングユニット送 風機インバーター設置	2020～ 2021	20	2020	20
3	エネ起	360701	冷却水システムの密閉回路化	2020	27	2020	22
4	エネ起	330201	フリークーリング	2021～ 2022		2021	36
5	エネ起	330204	チラー冷水温度設定変更			2020	21
6	エネ起	360703	エアー吐出圧力低減 (▲0.03MPa)			2020	94
7	エネ起	330201	クリーンルーム室圧一定制御			2021	34
8	エネ起	320102	蒸気負荷需要低時のボイラ稼働 停止			2021	79
9	エネ起	360703	排水タンク攪拌エアー停止			2021	56
10	エネ起	320102	操業に合わせたきめ細かい空調 機・ボイラ運転の実施			2022	114

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,122	1	3,375	1	3,187		
1,500k1未満	1	225	1	225	1	226	2	2,838
合計	2	4,347	2	3,600	2	3,413	2	2,838

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	1	1	1	1
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	1	1	1	1

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	13	13	12	12
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	テレワークの推進
自転車の利用促進	
来客者の交通対策	遠方からの来訪予定者に対し交通案内（長野電鉄ダイヤ、須坂駅からの地図提供）を行っている。（継続）
物流の合理化	各社独自で運送便を手配及び運搬をしていたが、ルート便（往復便）を運行させることで走行車両の削減を行っている。（継続）

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	ISO14001	1995年
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBTを策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Actionへ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	廃棄物の削減		1995年

1.5 自由記載欄

<p>①環境配慮製品の開発・提供（エネルギー効率、資源効率）</p> <p>②社会貢献活動</p> <p>③EcoVadis社（本社：フランス）によるサステナビリティ評価において「シルバー」評価を継続獲得</p> <p>④長野県環境部環境政策課ゼロカーボン推進室様等による「長野県地球温暖化対策条例第28条及び第30条の規定による現地確認及び助言」が行われた。いくつかの助言を頂いたものの、総評では「施設管理はかなり実施されていると感じた」とのコメントも頂いた。（2022年12月6日）</p>
---